

令和5年度

小出の里だより⑬

茅ヶ崎市立小出小学校 学校だより



令和6年2月29日(木)

校長 丸山 修一

〈学校教育目標〉 心身ともに調和のとれた人間になるために

◎しっかり学ぶ子 ◎助け合う子 ◎進んで働く子 ◎健康で元気な子

新年を迎え早くも3月。今年度最後の月となります。2月の授業参観・懇談会、音楽朝会、10歳の集い等に、お忙しい中ご参加をいただきありがとうございました。子どもたち一人一人の生き生きとした姿、頑張っている姿をご覧になり、1年間の成長を感じられた保護者の方も多かったと思います。

今年の冬は雪も降りましたが暖かい日も多く、梅の花や西門の河津桜も咲きだし、春の訪れを感じさせてくれます。3月の授業日数は5年生が16日、1年生から4年生が15日、6年生は卒業式まで登校するのは13日です。どの学年も卒業・進級の時を迎えるにあたり、4月からの学校生活が1学期にスタートできるように、一日一日を大切に新年度への準備をしていきたいと思ひます。保護者の皆様におかれましても、子どもたちが自分自身の成長を実感したり、学校生活の思い出を振り返ったりしながら、次への目標や意欲につなげられるよう声掛け、励ましをお願いいたします。

【150周年記念事業 記念碑・樹木プレート設置】

11月末の西門掲示板に続き、1月末に小出小学校150周年記念事業協賛会、地域・保護者の皆様のおかげで、小出小の「むくろじの木」をはじめ、校地内の樹木と「みどり地蔵」などの貴重な歴史的遺物にプレート（子どもたちの撮影した写真と考えた説明）を、また、「小出小の歴史」の記念碑と「グラウンド誕生」の記念碑を設置することができました。記念碑の地図の図案は、5年1組のY・Sさんの作品が選ばれました。150周年に在籍していた子どもたちの記念碑・プレートに込められた小出小を愛する想いは、今後も受け継がれていくと思ひます。改めて地域・保護者の皆様の多大なるご支援・ご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。ご来校の際はぜひご覧ください。

※2月16日（金）に、記念事業協賛会の皆様へお披露目をいたしました。（写真：下段右）

※地域の方で見学を希望される場合は、ご来校の際、お声をお掛けください。



【 4年生 10歳の集い 】

4年生は、2月6日（火）に保護者の方々に体育館で「最高到達点」の合奏を披露した後、小出コミセンを会場にして「10歳のつどい」を行いました。子どもたちは、保護者の方々やコミセンの役員さんたちが見守る中、自分の好きなこと、将来の夢を一人ずつ発表しました。その中には、今まで育ててくれた保護者への感謝の気持ちを素直に表現されているものもありました。そして、タイムカプセルに10年後の自分への手紙と自分の好きなものを貼った色紙を入れました。手紙と色紙は大人になった自分に届くようにタイムカプセルに入れ、コミセンで保管していただき、小出地区「20歳のつどい」で開ける予定です。その後、学年の仲間と心一つに「ツバメ」を合唱し、コミセンの方より校章の入った記念の紅白まんじゅうをいただいた後、全員で記念写真を撮りました。子どもたちはうれしそうに、そして、ちょっと誇らしげな表情をしていました。10年後、タイムカプセルから取り出した自分への手紙と色紙をどんな表情で、どんな気持ちで見るのか、とても楽しみです。これからも地域の方々と連携しながら保護者の皆様とともに子どもたちを大切に育てていきたいと思ひます。



【 3年生 ふるさとファーマーズの授業 】

3年生は、2月1日（木）の社会科・総合的な学習の時間に、ふるさとファーマーズの方々をお招きして授業を行いました。環境にもからだにも優しい「不耕起栽培」についてのお話を聞いたり、作物の種当てクイズをしたりしました。子どもたちは、里山公園に隣接した畑で栽培していることを知り、里山学校での活動ともつながり、興味・関心をもって取り組んでいました。今まで学習した農業とは違っていたので「はじめて知った」、「そんな栽培方法があるんだ」などと、驚いていました。



【 小出フェスティバル 】

2月14日（水）に、たてわり活動の一環として取り組んでいる、小出フェスティバルを4年ぶりに開催しました。寒さを心配しましたが、良く晴れて暖かい春の陽気の中、元気に活動することができました。子どもたちは、たてわりのグループに分かれて、お店屋さんとお客さんになって取り組みました。6年生を中心にして準備を進めてきましたが、12月から延期となり2月の実施となりました。どのグループも段ボールや紙、身近なものを使い、それぞれが工夫を凝らした楽しいゲームを、全校のみんなで楽しみました。



【 6年生 北陽中出前授業 】

6年生は、北陽中学校から先生に来ていただいて中学校の授業を体験する、出前授業を行いました。1組は、算数の計算の発展として、中学校の数学で最初に習う正の数、負の数の授業でした。また、2組は、社会の授業で1枚の写真から想像し、自分の意見を述べながら、環境問題について考える授業でした。子どもたちは、中学校の先生との出会いに緊張しながらも集中して一生懸命取り組んでいました。授業者以外の北陽中学校の先生たちも小出小の子どもたちの授業の様子を参観しました。6年生の保護者におかれましては、お子様が入学までに、自分で教科の復習をしたり、自分で時間を決めて勉強したりして中学校での学習習慣につなげられるようご確認・ご助言いただけたらと思います。



【 2年生 小出郵便局 】

2年生は、生活科で郵便についての勉強をした後、学校の中に郵便局を開設しました。2月16日（金）の朝の時間に各クラスをまわって説明をし、開局（22日まで活動）。20分休みや昼休みに、ポストから手紙を収集したり、各クラスの前にあるポストに配ったりしました。全校の子どもたちが友達や先生に手紙を書いて、やりとりを楽しみました。専用のはがきにつけてある切手の部分は、「小出小らしさ」を表す一人一人がデザインした「小出の風景印」になっています。どんなものが描かれているかを見るのも、楽しみの一つとなりました。



【 1年生 土づくり・パンジー植栽 】

1年生は生活科の授業で、ヒロ園芸店の矢加部さんに土づくりからご指導いただき、アサガオを育て終わった自分の植木鉢にパンジーを植えました。土を押し過ぎず、適度に空気が残るように鉢に入れていくのが難しそうでしたが、植え終わるととても満足そうでした。最後に矢加部さんから「今日、お水をあげてください。コップ1杯分、ペットボトルでいえば半分ぐらい」「水は直接花にはあげず、横から土にかけてください。」など育て方の説明がありました。1年生たちはさっそく水やりをはじめました。卒業式の時には、2年生のピオラと一緒に祝いにお祝いに渡り廊下などに飾る予定です。



【 4年生・6年生 音楽朝会 】

2月は、4年生・6年生の順番で音楽朝会を行いました。6日（火）の4年生は、茅ヶ崎寒川子どもファンドの取り組みとして行った「プロジェクト」の各グループ発表、「最高到達点」の合奏と「ツバメ」の合唱を発表しました。「10歳の集い」でも披露する楽曲を体育館に響かせました。この日の4年生は、朝は音楽朝会、午後は体育館での発表と小出コミセンでの「10歳のつどい」と大変でしたが、どちらもすばらしい演奏と合唱でした。



20日（火）の6年生は、1組が「青と夏」、2組が「ともに」の合奏と学年全員で「旅立ちの日に…」の合唱をしました。小学校生活最後の音楽朝会、気持ちの入ったすばらしい発表でした。6年生の素敵な演奏と真剣に取り組む姿は、後輩たちへのエールとしてしっかりと伝わったと思います。



今年度の音楽朝会は、各学年すべて実施することができました。朝早くから演奏を見に来てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

